

国立市シルバー人材センターニュース

第187号

いぶし銀



発行：公益社団法人国立市シルバー人材センター ・ 編集：広報委員会
 住所：国立市富士見台 2-38 ・ TEL：042-577-0919 ・ FAX 042-575-7288
 E-mail：kunitachi@sjc.ne.jp ・ URL：http://webc.sjc.ne.jp/kunitachi/index



古民家のお雛様

年間配分金支払日

4月15日(月)	8月15日(木)	12月13日(金)
5月20日(月)	9月13日(金)	1月20日(月)
6月14日(金)	10月15日(火)	2月14日(金)
7月12日(金)	11月15日(金)	3月14日(金)

【会費の納入】

令和6年度の年会費(2千円)の納入を、4月より6月末まで、事務局窓口にて受け付けております。

事故発生時の夜間・休日緊急コールセンター

 **04-2929-8282**

平日：17時15分～翌8時30分
 土日祝：終日

令和6年1月～3月
理事会協議報告

【第10回理事会 1月23日(火)】

- ①入会希望者 男性0名 女性1名
- ②職員就業規則の一部改正について
- ③準職員就業規則の一部改正について

- ④職員給与規程の一部改正について
- ⑤退職金支給規程の一部改正について

【第11回理事会 2月29日(水)】

- ①入会希望者 男性4名 女性3名
- ②令和6年度事業計画(案)について
- ③職員給与規程の一部改正について

【第12回理事会 3月26日(火)】

- ①入会希望者 男性4名 女性5名
- ②令和5年度補正予算(2号案)について
- ③配分金基準表の改正について
- ④令和6年度収支予算(案)について
- ⑤令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- ⑥役員賠償保険の加入について

—すべて承認—

◆ 東京しごと財団では、シルバー人材センターでのカリキュラムを希望する方、新たな就業分野への転換を希望する会員に向けた講習を行っております。
カリキュラムは実技実習を中心に、より実践的な技術の「修得」ができるようにしています。受講申し込みには所属センターの推薦が必要です。
募集は実施の概ね2カ月前から開始しますので、受講を希望する方はセンターの事務局へ講習日の2カ月前までにご連絡ください。

就業支援講習年間スケジュール	講習名	定員	日数	日 程	講習会場
	毛筆筆耕 (宛名書き)	20	7	6月20日(木)～7月1日(月)	ニチレイ水道橋ビル
	植木の剪定技術アップ講習 (多摩)	25	1	6月24日(月)	東京学芸大学
	パソコンインストラクター養成	20	4	7月8日(月)～7月11日(木)	ニチレイ水道橋ビル
	福祉・家事援助サービス (ハウスクリーニングⅢ) (第1回)	25	2	7月11日(木)・12日(金)	ニチレイ水道橋ビル
	包丁研ぎ (第1回) (多摩)	20	1	7月16日(火)	cocobunji プラザ
	ステップアップ接遇 (クレーム対応) (第1回) (多摩)	20	1	7月29日(月)	東京しごとセンター多摩
	福祉・家事援助サービス (ハウスクリーニングⅠ)	25	1	9月6日(金)	東京しごとセンター
	福祉・家事援助サービス (ハウスクリーニングⅡ) (第2回)	25	2	9月10日(火)・11日(水)	東京しごとセンター
	植木の基本と応用 (剪定)	25	10	9月24日(火)～10月11日(金)	東京しごとセンター 東京藝術大学
	植木の剪定技術アップ講習	25	1	9月27日(金)	東京藝術大学
	福祉・家事援助サービス (ハウスクリーニングⅢ) (第2回)	25	2	10月22日(火)・23日(水)	東京しごとセンター
	毛筆筆耕 (賞状書き)	15	12	11月7日(木)～11月29日(金)	東京しごとセンター
	包丁研ぎ (第2回)	20	1	12月2日(月)	東京しごとセンター
	ステップアップ接遇Ⅱ (家庭の仕事等・発注者対応)	20	1	12月9日(月)	東京しごとセンター
ホームネットワーク接続サービス (旧パソコン出張サービス)	20	3	1月21日(火)・22日(水)・23日(木)	東京しごとセンター	
子育て支援総合サービス	30	3	2月4日(火)・5日(水)・7日(金)	東京しごとセンター	
ステップアップ接遇 (クレーム対応) (第2回)	20	1	2月12日(水)	東京しごとセンター	
襖の張替え	15	3	3月4日(火)・5日(水)・6日(木)	東京しごとセンター	

窓

「窓」では、主に役員の紹介やセンターの委員会等の活動報告をはじめ、センター事業の目的や理念をご紹介しています。

理事会視察研修

茨城県ひたちなか市
シルバーふれあいショップを訪問

副会長 森久保 正子

2月29日～3月1日に理事・監事11名により、ひたちなか市シルバー人材センターの「シルバーふれあいショップ」を視察してきました。同ショップで販売されているのは、会員手作りの洋服や手芸品、野菜、干し芋、リサイクルの洋服、不要になった食器類などです。その中で会員手作りの素敵な絵葉書が目を引きました。開店は午前10時から午後2時まで、日曜日以外は営業しています。運営しているのは「コーディネート」と呼ばれる会員です。

施設は以前、自転車の修理・販売をしていた場所なので、人通りが多くはありません。皆さんに知っていたことが課題だそうで、「シルバー」という名前が一般のお客様の利用を遠ざけているのかな」という声もありました。視察に併せ私たちも買い物をしました。ショップの方から「毎月でも研修においていただくとありがたいです」と冗談が飛び出しましたが、それが半分冗談ではないと感じるほど、私たち以外のお客様は少なかったです。開店のきっかけは25周年記念誌で

当時の副理事長(女性)が「ショップを持つことが夢」と話されたことか。拠点ができれば様々なものを販売することで、会員同士・会員と市民がつながることができそうですし、そこから新しい事業が生まれる可能性もあります。ショップがあつて羨ましいと、正直思いました。国立市のシルバーでも「丈の長いズボンを持たないで、その場で裾直しをしたい。それを仕事としてやりたい」という願いが実現して布布の会ができました。その願いをもう一歩発展させ、105の活用を生かしていくヒントが得られた視察研修でした。



事業活動推進委員会

接遇ハラスメント防止研修報告

3月15日(金)に15人が参加して、標記の研修が開催されました。接遇の基本として、コミュニケーションの3要素(身だしなみや表情などの視覚要素、声の大きさやスピードなどの聴覚要素、話の内容そのもの)があるそうです。ある程度はわかっていますが、ついつい忘れてしまうこともあります。例えば手帳に書いておくなどして、就業前に確認するなど、自分なりの徹底方法が必要かと感じました。

また、実際に取り入れようと考えたのが「クッション言葉」です。相手に何かお願いしたり断るときに、印象をソフトにしたり不快感を和らげる言葉です。「お待ちください」というところを、「恐れ入りますが、椅子にかけてお待ちください」と「恐れ入りますが」がハラスメントについては、多くの種類があることに驚くとともに、気を付けなければいけないなと感じました。

第76回クリーン多摩川

国立の集い参加報告

3月17(日)に開催されました。風はありましたが晴天に恵まれ、

当センターからは13名が参加しました。緑川から鴻池運輸倉庫付近まで清掃し、全体で258kgのごみを集めました。終了後は恒例のうどんとヤクルトをいただきました。

出張入会説明会開催報告

毎月、第3金曜日の午前10時から開催している入会説明会に参加できない方のために、出張入会説明会を3月21日(木)に、国立駅前の「くにたちこくぶんじ駅前プラザ」で開催しました。当日は1名と例月の入会説明会より少なかったため、今後、出張説明会を開催する場合もつとPRする必要を感じました。

フードライフにマご協力ありがとうございました

昨年12月5日(木)から今年1月19日(金)まで募集していたフードライフですが、会員、職員延べ5名の方より、米、パスタ、麦茶、食用油、調味料(ソース・ケチャップ)など様々な食材等を提供していただきました。また、茨城県ひたちなか市シルバー人材センターより購入した米もあわせて市役所に納めさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

安全管理委員会

令和6年度安全標語選考結果報告

いぶし銀185号で募集した安全標語に11名から34点の応募がありました。選考の結果、優秀作品として選ばれた6作品を、国立市シルバー人材センターから東京都シルバー人材センター連合に推薦しました。

○自転車事故防止

信号は青でも先ずは右、左
北川 有洋
路地注意 一度は停止 左右改良
山下 博
ヘルメットかぶって心の緒を締めよ
上田 敏子

○転倒予防(国立市テーマ)

転んだらタダではすまぬ お年頃
坂谷 司
転ぶ予測が事故防ぐ
高城 正利
転ばぬ先の筋力バランス
上田 敏子

※入賞者には記念品を贈呈いたします

令和5年度交通安全講習会報告

令和6年2月9日(金)午前10時か

ら、くにたち福祉会館の大ホールにおいて、交通安全講習会を開催しました。今回は、コロナ禍以前同様に老人会の方々にもお声がけしました。27名の参加者が立川警察署の佐藤氏から自転車や自動車の安全な運転についてビデオを見ながらお話しをお聞きしました。

特に自転車を利用しての会員さんが多いことから、自転車通行に関する質問もいくつかありました。加害者にも被害者にもならないように運転する際は常に緊張感を持つこと、そして決められた交通ルールを守ることを安全に対する意識を再確認する良い機会になりました。



令和6年度応急手当講習会開催案内

日時：5月29日(水)午前10時～11時
場所：くにたち福祉会館4階大ホール
講師：立川消防署 国立出張所職員
定員：20名
対象：全会員
申込：5月22日(水)締切 先着順
窓口又は電話で申込
内容：ケガや骨折、熱中症の手当等
備考：消防車が出動になった場合は、ビデオでの講習となります。
ご了承ください。

シルバー総合保険制度について

会員の皆様が、①就業中や就業場所への行き帰りに偶然被った傷害事故、および熱中症を補償の対象とする「シルバー人材センター団体傷害保険」と、②就業中に事故が発生し、他人の身体や財物に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負うこととなった場合を補償の対象とする「シルバー人材センター賠償責任保険」の2つの補償を組み合わせた制度です。万が一上記のような事故が発生した場合は、速やかに事務局までご一報ください。なお、対象となる事故の例は、次の通りです。

【対象となる傷害事故例】

- (1) センターから提供された業務に就業中のケガ
- (2) センター等が主催するボランティア活動に参加中のケガ
- (3) センターから提供された業務に従事するため、就業場所と会員の住居との間の行き帰り中のケガ

【対象となる賠償責任事故例】

- (1) 作業中、誤って物を落とし通行人にケガをさせた
- (2) 作業中、誤って花瓶や鉢等を壊した
- (3) 作業完了後、作業の欠陥により他人にケガをさせた
- (4) 事務所施設の欠陥により他人にケガをさせた



福祉サービス委員会

動ける体！発見！

整体運動 参加者募集

ご一緒に「動ける体づくり」をしましょう。転倒予防にも効果があります。講師は長野パラリンピック金メダリストのマセソン美季さんのパーソナルトレーナーを務める方です。

日時：5月15日(水)午前10時～12時
場所：くにたち市民総合体育館
3階第三体育室

講師：渡辺 昭彦氏

対象：シルバー会員とセンターの入会に関心のある方

持ち物：上履き・タオル・水筒等

募集：40名(先着順)

申込：窓口または電話で申込

福祉サービス就業会員交流会のお知らせ

福祉サービス委員会では育児支援や家事援助サービスの就業会員に呼びかけて交流会を開催してきました。参加者同士の交流や情報交換の場として好評です。令和6年度第1回交流会を次のように開催しますので、就業会員や就業に関心のある方はぜひご参加ください。参加者には就業用エプロンを差し上げます。

日時：5月24日(金)午後2時～4時
場所：くにたち福祉会館3階中会議室
募集：20名
申込：窓口または電話で申込

～就業現場から～ Vol.10

学校開放安全管理業務

子どもたちの安全と成長を見守る



国立市の小学校の校庭や体育館は、主に土日祝休日の終日、一部の学校では平日の午後、個人やスポーツ団体に開放されている。当センターでは教育委員会からその安全管理業務を委託され、計17名が従事している。今回はそのなかで管理員連絡責任者（以下、連絡員）を務める浜野則夫さんにお話を聞き、管理員の島貫かつよさんの就業現場を見学しました。

取材：竹山文士



朝は元気な挨拶で始まる（七小体育館）



今日も子どもたちは元気かな



連絡員との打ち合わせも楽しい



団体開放の野球チーム（五小校庭）

Q 就業場所と時間は：

学校や場所によって異なります。校庭の場合、原則としてすべての小学校で、土日祝休日の9時～18時（冬期17時）の交代勤務で、八小のみ平日16時～18時（冬期17時）も就業になります。

Q 仕事の内容は：

管理員の仕事は、遊んだりスポーツをしたりする子供たちの見守り、諸設備や運動具の管理です。連絡員は午前、午後の2回学校を回り、管理員と面談して安全確認を行い、連絡や注意事項の伝達を行います。平日は巡回しませんが、緊急時に連絡をとれるよう自宅で待機して不測の事態に備えています。

Q 仕事上で大変なのは：

管理員の場合はやはり一番に安全管理ですね。個人開放の日に校庭が50人以上の子どもたちで溢れかえることもあり、ケガやトラブルがないように非常に気を遣います。過去にはケガをした子どもの応急措置をしたのですが、保護者とうまく連絡がとれなくて苦労したこともありました。

また夏の暑さ、冬の寒さも厳しいです。校庭は夏は照り返して高温化し、冬は吹きさらしの風で体温が低下します。そんな環境で一日や半日就業するのはなかなか大変です。

Q やっていて良かったと思うのは：

管理員としてはなんといっても子どもたちとの触れ合いですね。生き生きとした子どもたちに接して元気をもらいます。長く務めると子どもたちの成長を見つめることになります。中高生になった子が久しぶりに訪ねてきて、声をかけてくれた時などはこの仕事をやっていて良かったな、と思います。また連絡員としては管理員のみなさんと色々話をするのも大きな楽しみです。これからも元気でこの仕事を続けられるといいなと思いますね。



浜野さん、島貫さん

取材へのご協力ありがとうございました

（学校開放の詳細は国立市 HP「小学校校庭・体育館開放関係」参照）



一番変わったのは

富士見台

富士見台2班 佐藤 良雄

谷保天満宮鳥居の向かいで生まれ、昭和20年4月に谷保小学校(国立一小)に入学しました。戦前の記憶はあまりありませんが、低空で飛来する艦載機のパイロットの顔が見えたこと。墜落したB29の搭乗員の遺体がカマスに入られて滝之院にあったのですが、それが非常に臭かったこと。電波妨害用にアメリカ軍が落としたりした銀紙が、天満宮の木に引っかかっていたことなどを覚えていきます。

小学生のころの遊びはまず野球。学校や農家の庭などで、数人で三角ベースをしました。ゴムボールはありました。グローブは手作り。鍋つかみ用のミトンのような形で、親指とそれ以外が2本の3本指のグローブでした。バットは木の棒でした。夏には多摩川で泳いだり箱眼鏡で水の中を見てモリで魚を突いたり。モリは50cmくらいでゴムに引っ掛けて飛ばします。モリも箱眼鏡も郷土文化館に展示してありましたが、私が使っていた



天満宮下の甲州街道 (昭和 36 年)

たのはあんな立派なものではありませんでした。また、なぜあんな遊びをしたのかと思いますが、浮かないように大きな石を抱えて、川を歩いて渡ったりしました。泉の都民住宅のあたりに砂利場と呼ばれた砂利の採掘跡の大きな穴があり、そこでも泳いだりしていました。波がないので泳ぎやすかったですね。そんな夏のごちそうはキャンディーです。おじさんが自転車で売りに来ました。その小遣いを得るために鉄くず拾いをしました。電気工事の後に残っている電線の切れ端を拾ったり、磁石をひもにつけて道路で引って鉄くずを集めました。また、

畑から5cmから10cmのギザギザした鉄の棒が出ることもありましたが、焼夷弾だったのでしょうか。一橋大学では兼松講堂の地下に直径1mくらいの下水道管が通っていて、その中に入って遊びました。好きな場所は天満宮南の水田地帯。虫もいました。農作業を終えた後、夕日を背中に浴びながら帰るのですが、その雰囲気子ども心に温かさを感じたのでしょうか。農作業の時のおやつはコッペパン。ジャムやチョコレートをつけて食べましたが、ごちそうでした。甲州街道はとにかく人も車も少なかった。今でも甲州街道に面して天満宮の壁がありますが、そこにボールをぶつけて遊べるくらいです。自転車で乗って、時々通るトラックの荷台につかまって、一緒に走ることもありました。勿論、運転者に見つかれば怒られました。酔ったアメリカ兵が車を運転して事故を起こすこともありました。場所は大体決まっています。天満宮から少し下ったあたりです。当時と今と大きく変わったのは富士見台です。谷保駅周辺以外はほとんど家がなくなりました。戦中から戦後にかけてサツマイモを供出していましたが、イモ畑が多かったですね。富士山と今の芸小ホール場所にあった役場の建物が、どこからでもよく見えませんでした。



写真提供...くにたち郷土文化館

団地ができる前の富士見台地域。中央が国立町役場で下のほうで左右に伸びるのが南武線 (昭和 37 年)

た。グローブとスパイク、ユニフォームを買ってもらいましたが、今考えれば親は苦労して揃えてくれたのでしよう。一中は元消防学校でしたが、三小の場所にも消防学校の校舎があり、その校舎を再利用するため国立高校までコロで曳家していました。天満宮は今と変わりませんね。ただ、以前は篠竹が多かったのですが、うっそうとしていました。夏には肝試しもやりました。結婚式場を建てたときに杉の木を伐採して建築資金にしたので、今のように見通しが良くなったように思います。85年間国立で暮らしてきましたが、こうして振り返るとつくづくいい街だと思えます。これからはずっと国立で暮らし続けたいです。(聞き手・加藤登志雄)

会員の声

「会員の声」ではみなさんから投稿いただいたお仕事や地域班活動などの報告、旅行記、短歌俳句、写真、絵画等の作品を掲載しています。

谷保天満宮の清掃

東1班 飯田秀雄

昨年は、猛暑日が続き植木班にとっては過酷な夏でしたが、あっという間に過ぎ去り本格的な寒い冬がやって来ました。そんな中12月9日(土)植木班16名により奉仕活動の一環として谷保天満宮の落葉清掃を実施しました。

私は2022年にシルバー人材に入会し谷保天満宮での活動は初めての経験です。朝8時境内の宝物殿前に集合し、メンバーは、手際よいチームワークで、大量の落葉をかき集めました。用意された3台のダンプトラックにかき集めた落葉を積み込んで、延べ14台分にもなりました。

作業は午前中で無事終了。これで参拝者も気持ちよく参拝できると思うと「あぁ〜やって良かった」



と大変気持ちの良い爽快感たっぷりひとときを過ごす事ができました。最後には宮司様より感謝のお言葉を頂きまして我々の大きな励みとなりました。ありがとうございます。

陶芸との出会い

西1班 林 壽夫

私は、24歳から34歳までの約10年間、北海道札幌市で勤務しました。その当時の札幌は現在よりも人口が少なく、都市化もまだまだで、春には近隣の山々で山菜を取り、夏は石狩湾での潮干狩り、秋はきのこ取りなど、大自然を満喫した生活をしていました。このような生活の中で、岩見沢市やニセコ町で採土された粘土を使っている陶芸作家の作品を見る機会があり、いつかは自分で、作陶し、焼きあがった酒器で一杯やりたいと思うようになりました。

その後35歳に茨城県守谷町(現在は守谷市)に転居し、そこで町が開催する陶芸教室に参加したのが本格的な「陶芸との出会い」になりました。陶芸教室では、信楽の粘土を使用し、織部、白萩、伊



羅保、土灰などの釉薬を用いて電気窯で焼いてました。



町が主催する展示会に出展したり、自宅の食器、花器に使って、楽しむことを覚えました。守谷町は、笠間市、益子市へも比較的近く、粘土、釉薬の購入に出かけるとともに、作家の作品を見ることができ、昔から使われてきた穴窯(燃料は薪)で焼成した作品に出会い、炎と土が作り出す窯変に感銘を受け、新たな陶芸の面白さを知りました。

国立市に転居した約25年前には、小さな電気窯を購入し、自宅で陶・焼成するとともに、近隣の作家の工房を訪問し、得た知識を新しい作品に反映するよう努力をしてきました。最近では、のんびり、ゆっくりと陶芸にかかわり、自分の作った食器に手作りの干物(秋刀魚、鰻、鰯など)、手作りの漬物(燻りガツコ、秋ナス、高菜など)を盛り、好きな酒を嗜んでいます。



シルバーはうす 105 通信 VOL.19

シルバーはうす 105 は、会員が気軽に集まれる場所、そして会員相互のみならず市民との交流の場をつくりたいという思いからスタートしました。利用は、平日の9時から17時までで、洋服のお直し、折り紙教室やパソコン教室も開催しております。お散歩や就業帰りなどいつでもお立ち寄りください。
※スケジュールについては、事務局にお問合せ下さい。



Smile to Smile 登録お済みですか？

【Smile to Smile】は、毎月配分金明細の配信を始め、各種講習会やお知らせ、就業情報などを、会員の皆様へ素早くタイムリーに提供するサービスです。パソコンやスマートフォンで必要な時に情報を確認できます。

最近では、就業情報を随時更新しておりますので、この機会にぜひご登録ください。

就業情報確認方法



こちらのボタンをクリック



ご希望される方はこちらのボタンを押してください

新規会員を募集しています

令和6年度の新規会員入会説明会は、毎月第3金曜日に開催いたします。

◇日時 4月19日(金)

5月17日(金)

6月24日(月)

◇時間 各月、午前10時開始

◇会場 くにたち福祉会館 3階 小会議室

◇当日必要なもの

・年会費 2千円

(10月より千円)

・印鑑 (認め印)

・ゆうちょ銀行の通帳

・本人が確認できる証明 (健康保険証等)

◎入会手続き後の最初の理事会で承認された後、会員となります。

◎インターネットでも入会の申し込みができます。

シルバー人材センターURL、QRコード(1頁に記載)から手続きをしてください。

※ご不明な点は、事務局へお問い合わせください。

0577・0919

会員の在籍状況 (3月26日現在) (単位:名)

地域名	在籍数	地域名	在籍数
北 1 班	40	中 1 班	46
北 2 班	21	西 1 班	56
東 1 班	26	谷保1班	44
東 2 班	35	谷保2班	32
富士見台1班	42	泉 1 班	41
富士見台2班	32	青柳1班	25
富士見台3班	38		
富士見台4班	46	合計	524

編集後記

広報委員に参加して半年経ちましたが、私自身、「いぶし銀」を通じて知ることが沢山あります。「就業現場から」では各現場の仕事内容が良くわかります。また今号では、谷保天満宮での清掃奉仕活動について知りました。「ふるさとだより」や趣味の話題も毎号楽しみです。

これからも様々な情報を発信していけたらと思います
広報委員..真野妙子